

# 生命保険料控除に異動がある方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、生命保険料控除に異動がある場合

## 【第一表】

手順1  
7ページ  
参照

手順2  
8ページ  
参照

手順3  
11ページ  
参照

マイナンバー  
(個人番号)を  
記入する必要  
があります。

明治・「1」  
大正・「2」  
昭和・「3」  
平成・「4」

手順4  
20ページ  
参照

手順5  
24ページ  
参照

手順5  
24ページ  
参照

00 税務署長  
30年 2月 16日 平成 29 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A FA0113

住所 00市△△町X-XX-X  
氏名 国税 太郎  
生年月日 3491116  
マイナンバー XXXXXXXXXX

収入金額等	給与 7140000	課税される所得金額 (5)-(20) 2621000
所得金額	給与 5226000	上の⑳に対する税額 164600
所得から差し引かれる金額	社会保険料控除 1073196	配当控除 0
	生命保険料控除 120000	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額 169500
	地震保険料控除 21000	所得税及び復興特別所得税の合計額 168056
	基礎控除 380000	延納届出額 000
	合計 2604196	

還付される税金の所 00

- 記載手順については、この記載例で示している「平成29年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを参照してください。
- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にあって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にあって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にあって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例① 縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

記入例②

記入例③

**【第二表】**

(生命保険料控除に関する事項)

年末調整のために勤務先に提出した「給与所得者の保険料控除申告書兼給与所得者の配偶者特別控除申告書」に次の保険料を記載していなかった。

新個人年金保険料 100,000円

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際金額とは異なります。

- 手順1  
7ページ  
参照
- 手順2  
8ページ  
参照
- 手順4  
23ページ  
参照

- 手順3  
12ページ  
参照

- 手順6  
25ページ  
参照

平成 29 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

住所 〇〇市△△町X-XX-X  
フリガナ コクゼイ タロウ  
氏名 国税 太郎

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	給料 〇〇産業株式会社	7,140,000	169,500

所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額合計 169,500

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等
雑所得			

住民税に関する事項

扶養親族の氏名 続柄 生年月日 別居の場合の住所  
国税 二郎子 F=21.6.1

個人番号 XXXXXXXX-XXXX-XXXX

給与・公的年金等に係る所得以外(平成30年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択  
 給与から差引き  自分で納付

配当に関する住民税の特例  
 非居住者の特例  
 配当割額控除額

寄附金税額控除  
 都道府県 市区町村 寄附金  
 都道府県 市区町村 寄附金

整理番号 FA0067

所得から差し引かれる金額に関する事項

社会保険の種類	支払保険料	掛金の種類	支払掛金
社会保険料控除		⑦ 小規模企業共済等掛金控除	
合計		合計	

⑧ 新生命保険料の計 源泉徴収票のとりおし  
 新個人年金保険料の計 100,000 源泉徴収票のとりおし  
 介護医療保険料の計 源泉徴収票のとりおし

⑨ 地震保険料の計 旧長期損害保険料の計

本人属性  
 寡婦(寡夫)控除  勤労学生控除  
 死別  生死不明  離婚  未婚

氏名 配偶者の氏名 生年月日  
 配偶者控除  配偶者特別控除

扶養控除  
 扶養親族の氏名 続柄 生年月日 控除額  
 個人番号 明・大 昭・平 万円  
 個人番号 明・大 昭・平 万円  
 個人番号 明・大 昭・平 万円  
 個人番号 明・大 昭・平 万円

⑩ 損害の原因 損害年月日 損害を受けた資産の種類など  
 損害金額 保険金などで補填される金額 差引損差額のうち災害関連支出の金額

⑪ 支払医療費等 保険金などで補填される金額

⑫ 寄附先の所在地・名称 寄附金

特例適用条文等

控除対象配偶者や扶養親族などのマイナンバー（個人番号）も記入する必要があります。  
 なお、還付申告の方で、申告する所得が年末調整を受けた給与所得のみの場合で、配偶者（特別）控除や扶養控除に異動がないときは、第二表の⑫～⑭欄のマイナンバー（個人番号）の記入を省略できます。

(参考) 給与所得の源泉徴収票

平成29年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受ける 者	住所又は居所 〇〇市△△町×-××-×	(受給者番号)											
		(役職名)											
		氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ											
		名 国税 太郎											
種別		支払金額			給与所得控除後の金額			所得控除の額の合計額			源泉徴収税額		
給与・賞与		円	千	円	円	千	円	円	千	円	円	千	円
		7	140	000	5	226	000	2	589	196		169	500
控除対象配偶者の有無等		配偶者特別控除の額		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)				16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数		
有 証者		老人		特定		老人		その他		特別		その他	
○				1				1					
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額			地震保険料の控除額			住宅借入金等特別控除の額					
円		千	円	円	千	円	円	千	円	円	千	円	円
1,073		196	105	000	21	000							
(摘要)													
生命保険料の金額の内訳		新生命保険料の金額		旧生命保険料の金額		介護医療保険料の金額		新個人年金保険料の金額		旧個人年金保険料の金額			
		25,000		35,000		90,000				25,000			
住宅借入金等特別控除の額の内訳		住宅借入金等特別控除(1回目)		住宅借入金等特別控除(2回目)		住宅借入金等特別控除(3回目)		住宅借入金等特別控除(4回目)		住宅借入金等特別控除(5回目)			
控除対象配偶者		(フリガナ) コクゼイ リョウコ		氏名 国税 良子		個人番号		配偶者の合計所得		国民年金保険料等の金額		旧長期損害保険料の金額	
控除対象扶養親族		(フリガナ) コクゼイ イチロウ		氏名 国税 一郎		個人番号		(フリガナ) コクゼイ ジロウ		氏名 国税 二郎		個人番号	
1								1					
2								2					
3								3					
4								4					
未成年者		外国人		死亡退職者		本人が障害者		専業主婦		専業主夫		勤労学生	
中途退社・退職		就業		退職		年		月		日		明大昭和平年月日	
						29						○ 49 11 16	
支払者		住所(居所)又は所在地		〇〇区〇〇 ×-×-×		氏名又は名称		〇〇産業株式会社		(電話)		××-××××-××××	

【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票 (原本)」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。